

ロンドン、2015年12月3日

Primetals Technologies 納入の新設計・棒鋼圧延機、 インド Kalika Steel (カリカ製鉄) で稼動に成功

- 本プラントタイプでは初めての稼働
- 迅速かつコスト効率良い施工を実現するプラント設計
- 生産能力は年間 25 万トン
- 契約上のすべての保証性能を達成

Primetals Technologies が納入したインドの製鉄メーカー、Kalika Steel Alloys Pvt. Ltd. (Kalika Steel : カリカ製鉄) 向け棒鋼圧延機は、今年初頭に運転を開始し、このほど契約上のすべての保証性能を達成しました。この圧延機はインド・マハラシュトラ州のジャルナ工場に設置され、低炭素鋼を原料に年間約 25 万トンの棒鋼を生産しています。このプラントは、Primetals Technologies が特に中小規模の生産量に適する様にデザインしたもので、迅速かつ経済的に本プロジェクトを実現することができました。本案件は Primetals Technologies が 2013 年の中頃に受注したものです。

カリカ製鉄は建材用鋼の分野をリードする民間大手メーカーで、半製品として供給するビレットを原料のスポンジアイアンから誘導加熱炉で生産してきました。カリカは、成長するインド建設市場への鋼材供給を目指して圧延機を新規導入し、同じ敷地内でビレット鋳造から棒鋼圧延までの一貫生産体制を構築しました。

Primetals Technologies は、直径 8~40 ミリメートル、長さ 9~15 メートルの鉄筋用丸棒を生産する棒鋼圧延機について、機械装置及び電気装置一式に加えてオートメーションシステムを供給しました。圧延機は Red Ring 方式のスタンド 18 基と長さ 54 メートルの冷却床、さらに圧延された棒鋼の結束機で構成され、誘導加熱炉で 950° C に加熱された断面 130×130 ミリメートル、長さ 9~15 メートルのビレットを圧延し、秒速最大 13 メートルで棒鋼を生産します。また、ルーパー、ガイド、ロータリーせん

断機、PQS 冷却システム、ピンチロール、分割せん断機、ローラーテーブル、冷間せん断機、測長ビーム、棒鋼の搬送・計数・結束用の装置も納入。さらに Primetals Technologies は、流体系統、ロール交換ロボット、電気装置/オートメーションシステム一式の納入とともに、圧延機の建設及び試運転を担当しました。



Primetals Technologies がインドの製鉄メーカー、Kalika Steel（カリカ製鉄）に提供した棒鋼圧延機（マハラシュトラ州ジャルナ）

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL (03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications and Marketing
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジー社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com